



ぎかい

懸かけはし橋 だより



も
く
じ

■ 令和2年度一般会計予算	P 2
■ 新年度予算の主な質疑	P 4
■ 新年度予算の主な事業内容	P 6
■ 【特集】町の財政(扶助費の影響)	P 7
■ ここが聞きたい一般質問(5名)	P 8
■ 総務文教・産業民生常任委員会活動	P14
■ 議員全員協議会(公共下水道事業特別会計)...	P16

朝の桜並木

～木内々～

(写真提供：吉田 紀美男 様)



一般会計

令和2年度 予算

まちの発展と
町民の幸福しあわせ
のために

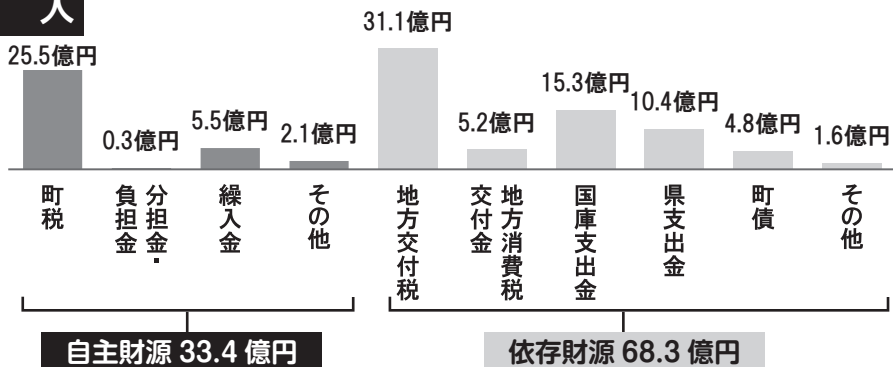
「選択」と「集中」そして
「スピード感」をもって
全力で取り組む

今年度の主な事業

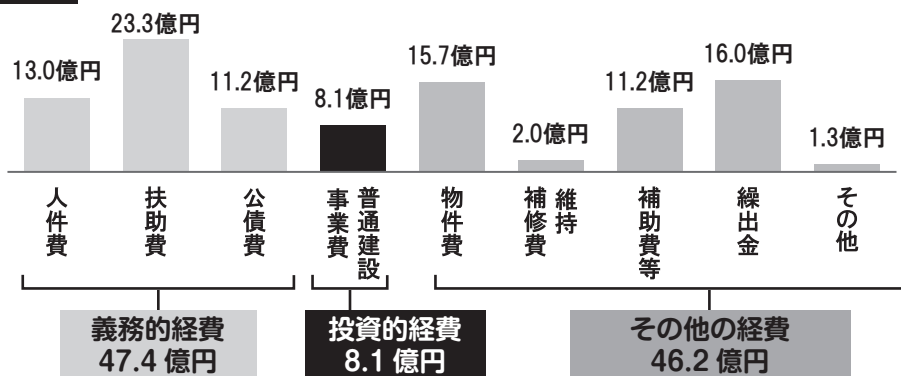
- ▶ 町内会運営費交付金
- ▶ 子育て世代包括支援センター始動
- ▶ 学校給食費無料化事業(継続)
- ▶ 「防災安全マップ」全世帯配布

※四捨五入の関係上、金額が一致しない場合があります。

歳入



歳出(性質別)



人事案件

人権擁護委員の候補者が決まりました



【諮問第1号】任期満了に伴い、引き続き和田貴美子氏(木ノ下)を委員候補とすることについて適任としました。
任期は令和2年7月1日から3年間となります。

ことばのヒント!

自主財源：町税など町が独自に徴収するお金

依存財源：町以外の国や県など、法律・基準により決定され、町に分配・交付されるお金

扶助費：児童手当や乳幼児・高齢者・重度心身障がい者の医療費に使う経費(関連P7参照)

公債費：町が借り入れたお金の返済に充てる経費

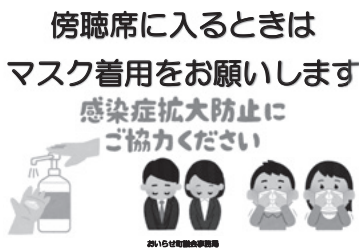
普通建設事業費：学校や道路などの資産の形成に向けられて、財産として将来に残るものに対して支出される経費

令和
一般会
101億
前年度、
96億8,610
4億8,860

令和2年第1回定例会は、3月5日から12日までの8日間の会期で開かれました。

除雪作業委託料の増額にかかる専決処分の承認や、町営霊園事業の見直しに伴い使用料等を改めるための条例の一部改正、児童館・みなくる館の指定管理による条例の一部改正、令和元年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、議案32件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

また、令和2年度一般会計、特別会計などの歳入歳出予算議案8件は予算特別委員会を設置し、集中審査の結果、原案のとおり可決しました。



コロナウイルス感染防止のため、傍聴者へのマスク着用のお願いと、議場内の換気を行い開催した定例会の様子



▲西館秀雄議長



▲榎山忠副議長

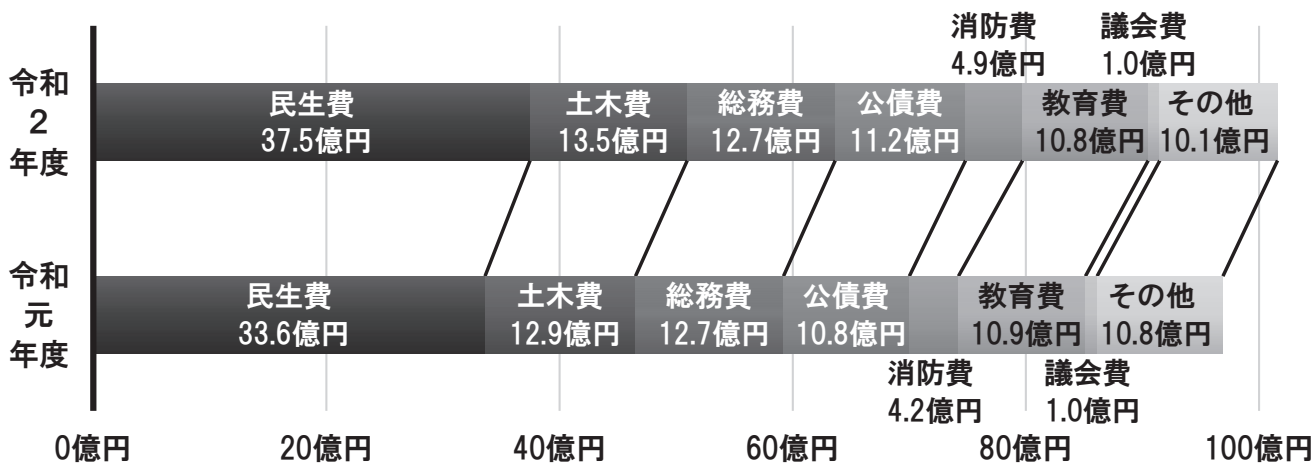


▲西館芳信予算特別委員長



▲松林義光議会運営委員長

▼一般会計歳出予算構成グラフ(目的別)



▼各会計別の予算

※四捨五入の関係上、差引増減額が一致しない場合があります。

予 算 額		令和2年度	令和元年度	差引増減	
一般会計		101億7,470万円	96億8,610万円	4億8,860万円	
特別会計	国民健康保険	25億3,195万円	23億8,120万円	1億5,075万円	
	奨学資金貸付事業	1,680万円	2,018万円	▲338万円	
	公共下水道事業	10億4,945万円	10億5,974万円	▲1,029万円	
	農業集落排水事業	1億3,132万円	1億5,677万円	▲2,544万円	
	介護保険	23億1,598万円	22億8,542万円	3,057万円	
	後期高齢者医療	2億1,293万円	1億8,766万円	2,528万円	
公営企業会計	病院事業	収益	10億 416万円	9億7,990万円	2,426万円
		資本	5,362万円	4,835万円	528万円

令和2年度予算特別委員会 ー主な質疑ー

令和2年度一般会計予算及び各特別会計・病院事業会計予算案は、議長を含む全議員をもって構成した予算特別委員会（西館芳信委員長）で審査しました。

町政全般にわたり、多くの質疑がありました。紙面ではその一部をご紹介します。

【事】 事業評価で鮭まつりと将棋まつりがD評価で、生涯学習フェスティバルがA評価の理由は。（松林義光）

【答】 生涯学習フェスティバルは、準備から運営、後片付けまで各種団体がそれぞれに行い、また、工夫を凝らした作品の展示等で、高評価となっている。将棋まつりは、運営団体の高齢化が進んでおり、鮭まつりは、費用対効果が悪いため評価が低い結果となった。

令和元年度実施した36事業の評価は、基準を設けて行い、決して感覚だけで行っているものではない。事業目的、事業内容、経費、準備期間、必要性、費用対効果、住民サービス向上、地域還元できるものなのか等を判断し、全て積み上げて評価している。

イベントでの町活性化は時代と共に変遷している。職員が『本来の仕事』をする時間を割いてイベントに従事しなければならず、『仕事をこなすだけの状態』となっていることから、事業事業評価に基づき削減していかねばならない。



▲任巻の将棋まつり



▲にぎわう鮭まつり

また、近年の動向として、町職員になる若者が少なくなっている。その理由として、町の福利厚生が追い付いていないのも一つの要因と考える。それら全てを含め解消するためにも、事業事業評価は必要である。

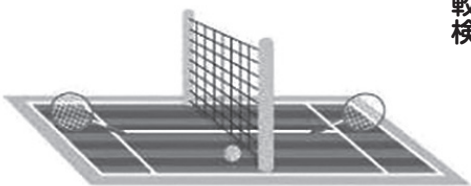
【問】 石中学校屋外環境整備工事8900万円とあるが、その工事の中にも含まれるテニスコートを全天候型に整備して頂きたい。（沼端務）

【答】 芝生だとその後の管理があるため他の中学校にならない土で整備する。

【再質問】 三つの中学校の平等性を保つための考えでしょうか、新たにテニスコートを整備する際、中学校の独自性があってもいいのでは。

百石地区は小学校から盛んにソフトテニスをやっている子どももいて、全国大会にも出場し、優秀な成績を収めている。そういう背景も含めた環境整備を考えていただきたい。土で整備するよりも全天候型で整備した方が雑草等の手間もかからないのでは。また、費用もさほど膨らまないと思うが比較検討したのか。

【答】 比較検討を行っていない。三つの中学校を同一という考えに基づき土としたため、足並みを揃えざるを得ない。ご理解いただきたい。（関連P6参照）



▲百石中学校独自のテニスコートがあってもよいのでは？

【問】 石幼稚園改築整備は、以前から計画に搭載されていたか。また、財源は。（平野敏彦）

【答】 平成30年度から実施計画に搭載。

百石幼稚園は昭和49年に建設され、45年経過し老朽化が進んでいた。

補助については国の制度に従い、希望する幼稚園や保育園等があれば、整備費用の支援をしなければならない。

財源の負担割合は国が2分の1、町が4分の1、百石幼稚園が4分の1となっている。

百石幼稚園の改築概要は、総事業費約3億94450万円、補助基準額3億5664万円、計画定員数120名、建物面積約985㎡で現在の建物とほぼ同等の面積、建築場所は現敷地内となっている。（関連P6参照）





百 石高等学校支援事業費補助金150万円の事業内容は。(澤上訓)

答 百石高等学校魅力アップ協議会を令和元年7月に立ち上げ、協議会では、百石高校を存続させるために検討を重ね、次の支援方針を4つの柱で取り組むこととした。

- ①「学力の向上」としては、学習塾の費用、月額5千円を上限とし6名へ助成。但し、塾費用の2分の1の額以内でおいらせ町在住の百石高校生を対象とする。
- ②「通学利便性の向上」
- ③「地域との連携の促進」
- ④「効果的な情報の発信」

を掲げ、まずは学力の向上を目指し、令和2年度から実施する。

百 石高校の高校生レストランの現状と高校の現状は。(沼端務)

答 5月から11月にかけて計8回実施し、「キッチンいちよの森」として行っている。県内外からお客さんが来町し、1回60食を上限とし、ほぼ毎回完売している状況である。

令和2年度の食物調理科の受験応募倍率が上三地域で1位となっている。食物調理科の人气が百石高校の維持につながっている。



▲成人式で料理を振る舞う百高生

認 知症ガイドブックを議員へ配布し、議員からも町民に対し、認知症についての認識を高めるための機会にしては。(平野敏彦)

答 おいらせ町認知症ガイドブックは、認知症相談時や介護申請の方等に配布している。また、庁舎や公民館などの公共施設、関係医療機関・薬局等に配置している。議員へは配布してはなかったため配布する。



認 知症は誰でもかかりうる脳の病気ですが、介護予防活動に取り組んだり、病気の早期発見・早期対応などにより、発症や進行を遅らせたり、症状が軽くなったりする場合があります。

地域包括支援センターでは認知症の相談に対応するための専門スタッフを配置し、介護や受診に関するアドバイス、関係機関との連絡調整などを行い、当事者やご家族を支援していますので、ご相談ください。

商 店街活性化イベント事業費補助金130万円が50万円に減額した理由は。(澤上勝)

答 この補助金は、軽トラ市と年末のフラッグ事業の経費である。

町 商工会員数は548名程で、そのうち約8割が零細企業である。零細企業を指導する経営指導員の町商工会補助金が600万円から300万円に減額した理由は。(澤上勝)

答 町商工会補助金は経営指導員分と百石支所の維持管理費分である。

百石と下田の商工会合併当時、10年を目途に百石支所の廃止を町と合意した。10年後の平成29年から毎年商工会と協議してきたが、約束から2〜3年経過後も改善が見込めず、再度協議したうえで令和2年度は経営指導員と一部の活動費を補助することとした。



▲商店街の活性化は図られたか？ 軽トラ市

この補助金は、軽トラ市と年末のフラッグ事業の経費である。商店街の活性化を図るため、軽トラ市を7年前に開始したが商店街の活性化が見られず、また、町民が出店するという形には反映されていない。他の軽トラ市は町からの補助金無しでも自立運営しているため、スタート時に5年経過しても自立できなければ補助金を廃止するとの方針を示した。2年間の猶予期間を経て令和2年度は補助金を50万円とし、それ以降はゼロとすることとした。

可決
しました

一般会計 当初予算 の主な事業内容

生活館等修繕工事費 藤ヶ森生活会館、 本村コミセンの修繕工事 予算額 445万円 	障害者(児)給付費等 居宅介護、施設入所支 援、児童発達支援等 予算額 5億880万円 	後期高齢者医療 給付費負担金 後期高齢者医療広域連合 への負担金 予算額 1億7,825万円 	百石幼稚園 整備費補助金 改築整備に係る補助金 町1/4負担 予算額 2億5,137万円 
子ども医療助成費 中学生以下の医療費の 自己負担分について 町が独自に給付 予算額 5,305万円 	児童手当 0歳から中学生までの 児童手当を給付 予算額 3億6,906万円 	子どものための 教育・保育給付費 保育施設への 運営費の給付 予算額 11億8,717万円 	児童館 指定管理者委託料 令和2年度から開始する 児童館指定管理料 予算額 5,280万円 
十和田広域事務組合 じん芥処理費負担金 一部事務組合への ごみ処理負担金 予算額 1億7,878万円 	十和田地区環境整備 事務組合負担金 一部事務組合への し尿処理負担金 予算額 8,640万円 	道路橋りょう費 町道、交通安全対策道、 橋りょう補修工事等 予算額 3億7,983万円 	除雪対策事業費 除雪委託料、 防雪柵組立収納工事等 予算額 7,290万円 
公園管理費 下田公園、いちょう公園 等の植栽管理等委託料 予算額 7,386万円 	八戸地域広域市町村 事務組合消防費負担金 一部事務組合への 常備消防負担金 予算額 3億4,305万円 	消防施設費 百石第1分団水槽付消防 ポンプ自動車更新 予算額 5,900万円 	百石中学校 外構工事費 屋外環境整備工事 (テニスコート含む) 予算額 8,900万円 
小・中学校 保健室エアコン設置 5小学校・3中学校 保健室エアコン設置 予算額 281万円 	みなくる館等 指定管理者委託料 令和2年度から開始する みなくる館等指定管理料 予算額 6,720万円 	学校給食運営費 給食食材費 1億2,484万円 業務委託料 9,467万円 ほか 予算額 2億5,932万円 	公債費 町債償還元金 10億5,973万円 町債償還利子 5,683万円 予算額 11億1,656万円 

※千円の位を四捨五入しています。

▼
定例会
当初予算

財政への影響大!?



扶助費

にお答えします

問 財政悪化の要因の一つに扶助費の増があげられますが、その扶助費とは？

答 社会保障制度の一環で、児童・高齢者・障害者生活困窮者・医療給付等の経費です。

問 なぜ扶助費が増大しているの？

答 急速な高齢化の進行と制度見直し(一例：児童手当・乳幼児医療費等)により増加しています。

問 今後、どうするの？

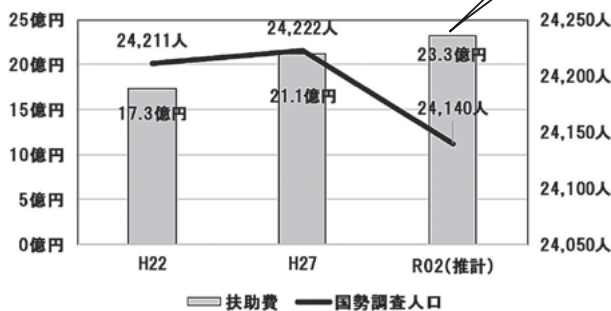
答 若年層からの取り組みにより、「健康寿命」を伸ばし、医療費と介護給付費の抑制を図っていくことが重要になります。

人口が減少しても、扶助費は増加が続いています。

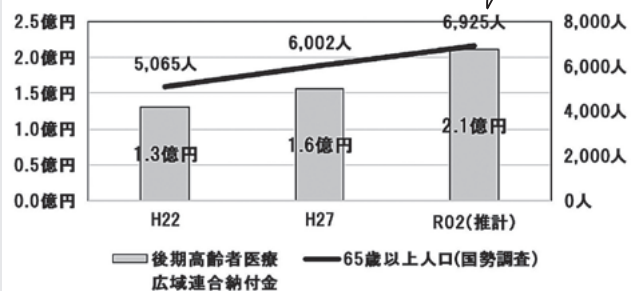
注目!!

10年間で高齢者が約1,860人も増え、医療費も約8,000万円増え続けています。

扶助費と人口の関係



65歳以上の人口と後期高齢者医療給付の関係



3月補正予算

可決
しました

一般会計(第4号)

歳入の主な内容	補正予算額	歳出の主な内容	補正予算額
財政調整基金の取り崩し	3,395万円	除雪対策費(除雪作業委託料)	3,360万円

一般会計(第5号)

既定予算の総額から566万円を減額 予算総額は、99億7,604万円		歳出の主な内容	補正予算額
歳入の主な内容	補正予算額	公共施設整備基金積立金	4,617万円
町税	973万円	ふるさと応援寄附基金積立金	570万円
子どものための教育・保育給付交付金等	3,107万円	障害者(児)給付費他	1,204万円
プレミアム付商品券事業費、事務費補助金	▲2,155万円	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金	683万円
小学校防災機能強化事業費補助金	2,054万円	子どものための教育・保育給付費	3,040万円
財政調整基金の取り崩し	▲6,508万円	病院事業会計医業外収益・他会計負担金	2,393万円
		木ノ下小学校非構造部材耐震改修工事費	5,814万円

特別会計

特別会計	補正額	補正後予算総額	歳出の主な内容
国民健康保険(第3号)	7,193万円	24億6,775万円	診療報酬給付費、高額療養費
奨学資金貸付事業(第2号)	310万円	1,915万円	奨学基金積立金
公共下水道事業(第3号)	▲741万円	10億5,684万円	保守管理委託料、清掃委託料
農業集落排水事業(第3号)	▲950万円	1億4,574万円	処理施設維持管理事業委託料
介護保険(第4号)	▲1億1,087万円	22億5,672万円	給付費見込額精査
後期高齢者医療(第2号)	108万円	1億9,997万円	給付費見込額精査
病院事業(第3号)	268万円	10億2,853万円	入院・外来収益の減少

※千円の位を四捨五入しています。



ここが聞きたい

一般質問

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ

(<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>) で閲覧できます。

また、本庁舎議場での傍聴もお待ちしております。

よりよいまちづくりのために

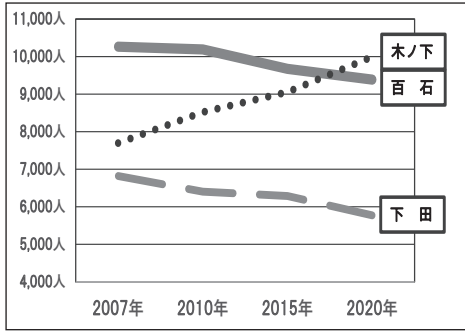


ページ	議員（質問順）	主な質問項目
9	馬場 正治 議員	・「持続可能な町」の次に期待すること
10	日野口 和子 議員	・ 公共施設トイレの整備充実を ・ 健康増進のための整備充実を ・ 新型コロナウイルス対策は ・ 町道整備の必要性を質す
11	田中 正一 議員	・ 新型コロナウイルス対策は ・ 昨年度の当町の農業対策は
12	平野 敏彦 議員	・ 超高齢化社会を見据えた対策は ・ 新年度予算の重点施策は
13	澤上 勝 議員	・ 選挙公約実現の見通しは ・ 環境整備について問う ・ 事務事業評価について問う ・ 新聞報道された廃棄物の野積みの撤去について問う



おいらせ町のまちづくりについて 「持続可能な町」の次に期待すること

馬場 正治 議員



▲中学校区別人口の推移

問 人口増加に向け発展できる町に取り組み意欲は。

答 全国で深刻な人口減少が進み、青森県においても2015年の131万人から124万人に減少し、5年間で約7万人も減っている。

現在、町は微増・微減を繰り返しながら人口2万5千人を維持しているが、10年後には2万3千人を下回ると予測されている。

町の魅力を活かし、将来にわたって安定した行政運営ができるよう持続可能な町づくりを進め、更なる町の発展を目指したい。

「持続可能な町」の次に期待すること

問 町は何もしなくても人口を維持している。右肩上がりの推計で計画を練り直してもらいたい。

答 2015年国勢調査時の推計は24206人に対し、実際は24222人で16人の増である。また、住民基本台帳の人口でも過去10年間で、100名程度で微増・微減を繰り返して、それほど大きく増えていない。

何もしなくても人口が増えているというのは、認識の違いがある。上下水道の整備や道路等の住環境の整備、定住促進助成金、小中学生の医療費や給食費の無料化等を実施し、町として努力している。

問 財政健全化を図るためには、事業の縮小・廃止による方法以外に考えはないか。

答 町財政計画では新たな財政健全化の取り組みを行わない場合、年間1億円超の財源不足により、財政調整基金が枯渇し、住民サービスへ重大な影響を及ぼすと懸念されている。町ではこれまで、職員削減や借金の抑制、物件費の一律削減等、内部経費の削減を続けてきた。しか

し一方では、少子高齢化、防災、定住促進の各種対策等、新たな行政課題に対応する施策が増加し、削減した額を上回る経費となっている。

持続可能な財政運営には事業の選択が必要である。事務事業の見直しのほか公共施設マネジメントの推進や受益者負担の最適化等、抜本的な取り組みを、総力を挙げて行う。

問 イベント廃止と各事業の予算一律カットはいつまで続けるのか。

答 新年度予算では更に踏み込んだ削減までは考えていないが、イベントのみならず、全ての事務事業評価を行い見直しや改善を図る。町自治基本条例にも規定していることから一時的な取り組みとすべきではない。

問 人口増と発展が続く当町をアピールする考えは。

答 町ホームページや移住ポータルサイトを開設し、様々な情報発信をしている。

しかし、人口推移への状況に焦点をあてたアピールでは弱い部分もあるため参考に取り組んでみたい。

問 子育て支援事業等をどのような方法で町外に宣伝しているか。

答 町ホームページや移住ポータルサイトで発信し、更に定住関連や子育て支援策をまとめたガイドブックを配布しPRを行っている。

問 阿光坊地区に新幹線の見える丘公園を作る考えは。

答 阿光坊地区には、既に憩いの場として阿光坊地区農村公園が整備されている。新たな公園整備は、児童公園等が不足している地区を優先的に考えている。

なお、新幹線の見える施設として阿光坊古墳館があり、来館者が自由に利用できる。



▲新幹線が見える
阿光坊古墳館2階展示室

高齢者、障害者、児童生徒へ やさしい公共トイレの整備充実を

日野口 和子 議員



公共施設トイレの整備充実を

問 身体障がい者用のトイレやオストメイト対応トイレの整備状況は。

答 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」で定められ、一定規模以上の特別特定建築物が対象となる。当町では、みなくる館、町民交流センター、いちよう公園体育館、おいらせ病院、本庁舎、分庁舎の6施設が該当する。

身体障がい者用トイレは全6施設に整備されているが、オストメイト対応はおいらせ病院だけとなっている。



問 障害を抱えながら働いている方々へ配慮し、公的施設等に整備する考えは。

答 誰もが安全に安心して利用できるトイレ環境を整えること

は不可欠と認識している。既存の身体障がい者用のトイレを整備するスペースがあるか否かで多額の経費を要することも考えられる。今後、新築、改築する施設に関係法令に基づき適切に対応する。



問 女性用トイレの内ドア部分にカバンをかけるフックを整備する考えは。

答 フックの整備は、「すべての人に使いやすい建築物」を目指した考え方のもとに、各公共施設において、全ての町民が使いやすい環境整備に努めたい。

問 学校を含め公共施設の和式トイレを洋式トイレに整備する考えは。

答 特別特定建築物6施設及び小中学校8校には計416個の便器があり、そのうち洋式便器は223個で割合は約54%である。

生活様式の変化等により洋式のトイレは避けて通れないと

一般質問

感じている。しかし、一方で、他人の座った便座を使用することに抵抗を感じる方に対して、和式トイレも一定数確保する配慮も必要と考えている。

健康増進のための整備充実を

問 北公民館にトレーニング機器を整備する考えは。

答 トレーニング機器を設置する際は、安全性を確保するために入室を管理できる部屋が必要で、北公民館は特に多くの利用があり、どの部屋もトレーニング機器で占有するのが難しい状況である。

新型コロナウイルス対策は

問 当町の管理体制は。

答 2月3日「新型コロナウイルス」に関する会議を開催し、情報共有を行った。

その後、県知事を本部長とする「新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部」を設置したことを受け、19日に副町長を会長とする「町新型コロナウイルス

感染症対策連絡会」を設置した。会議では、各課等の取組状況や今後の対応策等について協議した。

今後、県内で感染者が発生する等、更に深刻化した場合、町長が本部長となり「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し対策にあたる。



町道整備の必要性を質す

問 鶉久保地区の町道整備により住民の生活環境が好転し、移住する方が増加すると考えられるが整備は。

答 町ではこれまで八戸圏域水道企業団が配水管工事を行う際に、町道の舗装や側溝等の整備を実施してきた。

令和2年度に議員要望の町道鶉久保三川目2号幹線も配水管工事に合わせて舗装工事を予定している。



稲の斑点米カメムシ駆除のため

土手の焼き払い復活を

田中 正一 議員

新型コロナウイルス対策は

問 当町のこれまでの取り組み状況は。

答 2月19日に「町新型コロナウイルスウィルス感染症対策連絡会」を設置した。28日に1回目の会議を開催し、各課等での対応状況報告と今後の対応策等を協議した。

2月29日から3月15日までの約2週間に開催予定のイベントは、町主催のものは中止や延期規模縮小し、外郭団体や関係機関等が主催するもの等についても、同様の要請をしている。

3月5日から町内小中学校を臨時休業し、放課後子ども教室の開設時間を拡大した。

おいらせ病院は、当面の間、入院患者への面会禁止措置や全ての来院者に対して体温検査を実施し、37.5度以上の方や疑いのある方は、屋外診察室へ移動させ、そこで医師が診察するなどの措置を講じている。

今後新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を行うべく。

問 保育園、小中学校及び高校の指導状況は。

答 保育園へは町民課から、小中学校へは教育委員会から、国・県の通知及び町の対策や取り組みに沿って指導している。その内容は、咳エチケットや手洗い、うがいなどの予防策の徹底のほか、子どもたちの体調管理や健康観察に十分に配慮するなどを依頼している。

高校は、県教育委員会管理のため町教育委員会から直接の指示や指導はしていないが、同様の方針に基づいた対応がされている。



問 高齢者施設（老人ホーム等）の対応は。

答 基本的には、高齢者介護施設における感染対策のマニュアルに沿って対応を行う。

具体的には、施設職員の出勤時の検温等の体調管理や高齢者の健康状況の確認、施設内消毒等の衛生管理を行う。

各施設が個別に感染対応マニュアル等を作成し、そのマニュアルに基づき対応していることを確認している。

昨年度の当町の農業対策は

問 水稻の斑点米カメムシ対策は。

答 水稻のカメムシ被害による斑点米は品質の低下を招くとともに、等級への大きな要因とされているため、斑点米カメムシの防除策は大変重要であると認識している。

町としても関係機関と連携し、被害状況の把握に努め、防除対策を促すことで水稻農家の経営安定と良質米の生産を推進していきたい。

問 町で斑点米カメムシを駆除するために、土手の焼き払いを消防に依頼可能か。

答 大規模に焼き払いを行う場合、「町火入れに関する条例」が

あり、森林の周囲1kmの範囲に当たる田畑等の土地で害虫駆除を目的として火入れすることは可能なため相談してほしい。実施する場合は消防団に依頼し、防火対策を行うとともに、消防署と連携体制を図っていただく。

問 当町の畑作の現状は。

答 当町の畑作は、「おいらせ町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン」において、大根、キャベツ、人参、ごぼう、長芋を重点品目として位置づけ、生産拡大の推進に取り組んでいる。野菜の販売金額は、前年を大幅に下回る大変厳しい年となった。地域の担い手を育て、魅力ある農業を次世代に引き継ぐことで町の農業を今後も発展させ、活力ある地域農業を推進していきたい。



学校給食費無料化を見直し、未来へ続く公共投資を ～全小中学校の洋式トイレ化・エアコン設置～



平野 敏彦 議員

策は 超高齢化社会を見据えた対

問 日本は世界にも類を見ない速さで超高齢化社会を突き進み、2025年に団塊の全世代が後期高齢者となり、現行の社会保障制度維持が困難となる「2025年問題」が待ち受けている。更に、介護費や医療費の急増、働き手不足、高齢者の孤独死や、認知症患者の徘徊による行方不明者の増加等が予測される。町で予測される困難となる社会保障制度内容は。

答 医療保険制度や介護保険制度で、医療費や給付費の急増により、保険税等の相当な負担が強いられるなど、制度維持が困難になると予測されているため、今以上の包括的な対策を講じることが重要である。

問 超高齢化に伴い在宅介護需要が激増した場合、おいらせ病院を核とした医療・福祉の連携強化は重要と考えるが、訪問診療体制の充実を図る考えは。

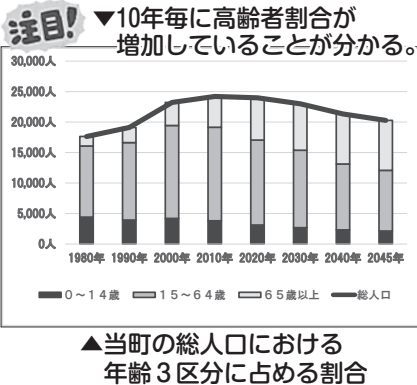
答 おいらせ病院では、通院が困難な患者に対して訪問診療を行い、在宅療養管理指導を実施。平成31年度から院内に地域連携室を設置し、周辺の病院や町介護福祉課・地域包括支援センター、介護施設等の医療連携を

強化し、在宅医療体制の整備と充実に努めている。

問 超高齢化に伴い認知症患者が増加し、75歳から79歳では8人に1人が発症、90歳では3人に2人が発症すると予測されている。厚生労働省は認知症施策推進大綱で、「共生」と「予防」の両輪を推進しているが、町の取り組み内容は。

答 「共生」では、認知症や家族を地域全体で支援する「認知症サポーター」を養成し、医療・介護に関するガイドブック「認知症ケアパス」の作成や、「認知症カフェ」等を通じて普及・啓発に努めている。

「予防」では、介護予防教室、いきいきサロン、100歳体操等憩いの場の確保と社会参加、身体及び認知機能の維持・強化に取り組んでいる。



一般質問

新年度予算の重点施策は

問 当初予算編成方針で「子育て支援や、移住定住促進に積極的に取り組む」とあるが、新年度の具体的な施策は。

答 子育て関連では、「学校給食費無料化」、乳幼児や小中学校の児童生徒への「医療給付」、「放課後児童クラブ運営」、第3子の「保育無料化」を継続して行う。新施策としては、子育て世代包括支援センターの開設や、百石幼稚園の改築助成を行う。

移住定住関連では、「定住促進助成金事業」、「移住就業者・企業向け移住支援事業」、移住ポータルサイトを活用した移住定住情報の発信をし、「第2期おいらせ町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき各種施策に取り組む。

問 平成30年度一般会計決算は単年度収支で0.5億円の赤字であったが、財政調整基金を取り崩し、財源不足を賄い、実質単年度収支は1.5億円の赤字である。財政計画は0.5億円から2.3億円の幅で財源不足が令和9年まで続くところがあるが、具体的解消策は。

答 遊休不動産の売却や公共施設の統廃合の検討、債券運用の拡大、公共施設の指定管理と電気料金契約の見直し、事務事業の見直し等を行う。

問 議員全員協議会で平成31年度の歳出削減策による捻出額は年間1億1千万円を見込んでいるが、現時点での削減額と達成の見直しは。

答 目標額1億1千万円に対し、現時点では約9千万円、82%に留まる見込みである。

問 目標額を達成できない場合、今後の財政状況が大変厳しくなるにもかかわらず、給食費の無料化を続けている。

町長の政策公約では「未来に向けた基盤を整える」とし「真に必要な公共施設の整備」とある。小中学校教室のエアコン設置や、トイレの洋式化等、学校の環境整備を優先すべきだと思う。町長は英断をし、給食費無料化を見直す考えは。

答 学校給食費無料化は令和4年度までの期限を定めて実施、検証することとしているため、現時点では考えていない。





町長の政治姿勢と 町財政計画の考え方を問う

澤上 勝 議員

選挙公約実現の見通しは

問 高校生までの医療費無料化の検討状況は。

答 財源的理由から、現在、考えていない。高校生までの医療費無料化を拡大した場合、高校3年間で約2千万円が必要となり、その他にシステム改修の費用等が生じる。

問 公共交通システムの進捗状況は。

答 令和元年度は実態調査を行い、令和2～3年度はその調査を基に検討。実施に向け各関係機関との調整に期間を要するため、令和4年度からを想定。デマンド交通^{*}も含め、今後検討。
※利用者の事前予約に合わせて運行する地域公共交通

問 多目的ドームが凍結ならば、いちよう公園体育館等を改修し、屋内ドームとする考えは。

答 現在、いちよう公園体育館の床を外してドームへ改修する検討はしていない。なぜなら新しいドームを完全にやめてもいいという話ではないと考えているため。



問 財政計画の考え方と新年度予算編成方針は。

答 財政計画では抜本的な取組を進め、毎年度1億円を超える規模の財源不足を解消し、収支均衡を達成することに加え、財政調整基金の残高を10億円確保する。令和2年度予算は更なる物件費や町補助金の一律削減を見送り、指定管理者制度やRPAの導入等、後年度のコスト節減に向け必要な経費を盛り込んだ。その結果、まだ収支均衡には至らないが財源不足を調整する財政調整基金の繰入額は前年度と比較し6千万円圧縮した。

問 財源不足を補うため全ての収入未済の回収強化と、洋光台団地の土地売却及び、町営霊園の販売、ふるさと応援寄附金アップに向け、取り組む考えは。

答 もちろん収入未済の回収には務めていくが、中には生活困窮者もいるため全て徴収できるものではない。
しかし、現在は高齢者の扶助費が毎年1億円ずつ増加し、更に町民からの要望も多いため住民サービスを抑えるのは非常に困難である。洋光台等の土地の売却はしていく。

環境整備について問う

問 木ノ下地区の公園整備の見通しは。

答 「町長の任期中の2年以内に目標を」という要望だが、他の必要経費が多々あり、2年内と断言できない。

問 氣比神社治いの道路拡幅及び歩道整備の見通しと、木ノ下墓地から農協スタンドまでの歩道整備の見通しは。

答 毎年粘り強く県へ要望活動を継続していきたい。工事完成時期を県に確認したところ、用地測量の段階のため、はつきりと申し上げられないとのこと
▶氣比神社 沿い道路



事務事業評価について問う

問 13事業について「廃止の検討」「補助金廃止の検討」とする内容は、職員の人件費がかさんでいるとの説明だが時間外勤務手当はいつまでか。

答 13事業で約72万円。今回の事務事業評価では全体事業費把握のため、時間外勤務手当や消耗品、委託費の他、主管課以外の職員の準備等で従事した人件費も積算し、13事業の合計は約1459万円となった。

問 町事業を他団体が実施する場合、町として支援すると説明したが1年の検討期間では無理があるのでは。

答 主催団体と協議調整を行っているため事業によつては1～2年の調整期間を要するものもあると考えている。

新聞報道された廃棄物の野積みの撤去は

問 町内3ヶ所に20年以上廃棄物が野積みされている現状と町と県の対応は。

答 町にある記録では、平成12年度から県が主体、町が協力し、対応してきた。当時からこれらには有価物とのことで計画的な売却指導をしてきたが思うように進まず、現状に至っている。県では令和2年度に全県的に、廃自動車等の数量・状態・位置等の基礎調査を実施していくこととしている。

一般質問



第1回 開催日：1月21日（火）

出席者：平野敏彦、澤上勝、西館秀雄、松林義光、澤頭好孝、沼端務、佐々木勝

案件1▶コンビニエンスストア収納の導入 ～令和3年度開始予定～

概要：納税義務者の利便性向上と納期内納付率の向上を目指すため導入する。

メリット：24時間365日全国各地で納付可能

デメリット：コンビニ納付できないものがある。

- ①納期限を過ぎた納付書
- ②納付金額が1枚につき30万円を超えるもの

導入経費：約596万円

年間費用：約153万円

対象税目：町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料

納付先：おいらせ町役場、指定金融機関、コンビニエンスストア、東北6県のゆうちょ銀行、郵便局

案件2▶百石第4分団（藤ヶ森）屯所建替工事の進捗状況

概要：施設の老朽化に伴い消防団屯所を改築する。なお、前回の一般競争入札が不調となったため、改めて設計変更し再度入札に付すもの。前回の設計額は3,600万円以上であったが、外構工事や換気設備等を見直し・削減し、工事請負費計3,388万円とした。

工期：契約締結の翌日から令和2年7月31日まで

構造：木造、平屋建

敷地面積：292.58㎡（約89坪）

建築面積：103.51㎡（約31坪）

今後の屯所整備予定

屯所名：百石第8分団（日ヶ久保、洋光台）昭和60年築（35年経過）

スケジュール：令和5年度実施設計、6年度建築工事

※ただし、今後はコストを意識し、リフォームも視野に入れて検討する。

▼会議終了後、現地調査を実施しました。



百石第4分団（藤ヶ森）屯所予定地



百石第8分団（日ヶ久保）屯所



百石第9分団（根岸）屯所

第2回 開催日：2月4日（火）

出席者：平野敏彦、澤上勝、松林義光、沼端務、田中正一、佐々木勝

案件2▶みなくる館、町立図書館、大山将棋記念館の管理運営に関する協定の概要

指定管理となる団体：株式会社図書館流通センター

指定期間：令和2年度～令和4年度（3年間）

指定管理料：約6,700万円（令和2年度分）

協定書概要：人員体制12人、月次報告・事業報告書の提出、モニタリング、施設利用料金等は従前の額と同額で指定管理人の収入となる等

事業実施計画：従前からのおはなし会や、図書館まつり、将棋教室等は継続実施



主催事業（指定管理料を使つての事業）

よみうり回想サロン、バリアフリー映画会、俳句ポスト、プログラミング教室、地球儀作り、交換展示、調べる学習コンクール

自主事業（指定管理料を使わない独自事業）

子育て支援事業、健康セミナー、こども茶道教室



第1回 開催日：1月23日(木)

出席者：西館芳信、澤上訓、樫山忠、柏崎利信、吉村敏文、日野口和子、木村忠一

案件1 ▶子育て世代の現状と課題

背景

- ①大家族での子育てから核家族による子育てが一般化し、親の負担が増加
- ②社会環境の変化：女性の社会進出や24時間365日営業する事業所の増加、非正規労働者の増加、地域社会の希薄化

現状と課題

- ①孤独な子育てによるストレスや不安増大
- ②育児休業を早めに切り上げての復職
- ③親の生活状況悪化と生活困窮層の増加
- ④子ども達の貧困化による生活習慣の乱れと人間形成への影響
- ⑤結果として、親からの虐待に発展する可能性がある。



案件2 ▶子育て世代包括支援センターの事業内容

目的：妊娠・出産から子育て期の保健・福祉の支援を総合的に提供

新規業務：①妊娠届出時に全妊婦を対象に個別の支援プランを作成。年間約200件

②乳幼児・児童・生徒のうち支援が必要な方を対象に個別支援プランを作成。年間約135件

強化業務：①産婦・乳幼児等の実情を把握し支援台帳を作成
②妊娠・出産・子育てに関する相談及び情報提供や助言、指導をする。

③利用者目線に立ち支援の継続性と整合性を確保できるように保健医療、福祉等の関係機関との連絡調整を行う。

令和3年度からの新規業務(予定)

産後ケア業務、産前・産後サポート事業を実施し、安心して妊娠・出産・子育てができる「子育てにやさしい町」を実現し、長く住み続けたいと思って頂けるよう取り組む。

第2回 開催日：2月13日(木)

出席者：西館芳信、澤上訓、樫山忠、柏崎利信、日野口和子、木村忠一

案件1 ▶町立児童館の管理協定概要

指定管理となる団体：シダックス

大新東ヒューマンサービス(株)

指定期間：令和2年度～令和6年度(5年間)

指定管理料：約5,300万円(令和2年度分)

協定書概要

- ①木ノ下児童センターみらい館職員 17人
- ②木々内児童センターひまわり館職員 9人

事業実施計画

従来の事業は継続したうえで、新規事業を行う。

案件2 ▶第4次町子どもと家族応援プランの素案

目的：子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境を整備する。

みんなが互いに助け合い、結婚・出産・子育ての希望を叶える環境づくりと、子どもの人権を尊重し利益保全に努める。今後5年間の教育・保育と、地域子ども・子育て支援事業を確保する計画

案件3 ▶(仮称)町子どもの貧困対策計画の素案

目的：生活の質の向上と貧困の連鎖を防止し子どもの貧困対策に取り組む。当町の全ての子どもたちが未来に向かって夢と希望を持てる社会の実現を応援するための計画



第3回 開催日：3月3日(火)

出席者：西館芳信、澤上訓、樫山忠、柏崎利信、吉村敏文、日野口和子

案件1 ▶令和2年度生活関連道整備計画

1.町道整備事業(単独：5,500万円)

- ①生活関連道：曙団地4号線、豊原5号線、阿光坊線、緑ヶ丘14号線
- ②交通安全対策：百小通学路線、木々内・本町線

2.町道舗装補修事業(補助・事業債：9,626万円)

下前田2号線、木ノ下・二川目線、鶉久保・薬師線

3.町道維持補修工事(8,000万円)

浜通線、阿光坊南1号線、鶉久保・三川目2号線

4.道路新設改良総務事業(1億2,317万円)

住吉町線

案件2 ▶国・県管理施設整備要望

県道8カ所、県河川砂防18カ所、国道4カ所を継続要望

案件3 ▶町都市計画見直しの概要

目的：現在、都市計画区域内・外は2制度となっているため、土地利用規制格差による町民の不公平感がある。

将来の人口減少・少子高齢化に備え、厳しい財政運営に対応した土地利用制度が必要





第1回議員全員協議会

2月20日(木)に開催され、8件について協議しました。
今回は1件をピックアップして掲載します。

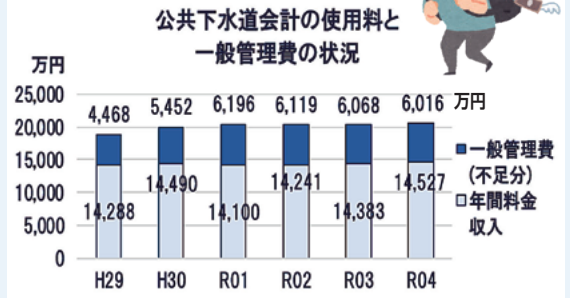


◆下水道事業の経営状況

【整備状況】当町の下水道事業は、公共下水と農業集落排水からなり、新規の整備工事は終了している。
下水道整備の普及率 約72% (18,043人利用)
合併浄化槽の普及率 約18% (4,625人利用)
合計約90% (22,668人利用)
県の汚水処理人口普及率は約80%、当町は40市町村中9位に位置し、高い水準となっている。

【収支状況】公共下水道事業・農業集落排水事業の両特別会計の平成30年度末の地方債(借金)残高は、合わせて約73億円。この償還(返済)の約9割以上を一般会計から繰り入れしており、大変、厳しい状況である。

【使用料】下水道事業会計の事業収支は独立採算が原則である。その主たる収入源である使用料は、供用開始時(平成4年)から、料金改定を行っておらず、現行の使用料単価が適切な水準に至っていないため、今後、使用料の見直しを図る。



【公営企業会計法適用の移行】

令和6年4月までに、下水道事業会計の法適用化に向けて移行作業を進める。法適用しない場合は、国庫補助金等の採択に影響が生じる。



≡ 傍聴者の声 ≡

- ▶ 議会のスムーズな進行のために通告外の話が議員が始めた際は、即、議長は指摘していただきたい。
- ▶ 傍聴者に話し声があり、うるさく大事なところが聞こえなかった。
- ▶ 議員の中には、人の話を聞く態度ではない者もいる。
- ▶ 聞きたい話が多く、傍聴してよかった。
- ▶ コロナウイルスで傍聴人へマスク着用を呼びかけていたが、町長・議員・職員の多くが着用せず、これで良いのか考えさせられた。
- ▶ 議員の意見が聞けて良かった。元気のある町、おいらせ町でありたい。活発な意見・議論を期待している。
= 貴重なご意見等、ありがとうございました =

第2回定例会のお知らせ

令和2年6月4日(木) 午前10時から

おいらせ町議会では、

みなさんの傍聴をお待ちしています。

● 問い合わせ 議会事務局 (本庁舎3階)

● 電話 0178 (56) 2112

令和元年度 おいらせ町議会議長の交際費を公表

種別	件名	金額(円)
会費	桂福丸落語会inおいらせ	1,000
会費	上北郡町村議会議長会定例会・懇親会(第2回)	3,000
慶弔	町議会議員の妻葬儀(生花・香典)	25,000
会費	漁業協同組合長 旭日単光章受章記念祝賀会	8,000
会費	三沢地区連合防犯協会定時総会・意見交換会	4,500
贈答	議会運営委員会調査活動のお礼(群馬県吉岡町)	2,200
接待	中野区議会議員行政視察来町時の飲料代	1,100
贈答	総務文教・産業民生常任委員会調査活動のお礼(岩手県遠野市、住田町、八幡平市)	5,880
会費	全国将棋祭り棋士を囲む歓迎レセプション	4,000
協賛	おいらせ下田まつり祭ばやし競演会	10,000
会費	青森県選出国議員との懇親会費	8,000
接待	愛媛県砥部町議会議員行政視察来町時の飲料代	1,540
会費	上北郡町村議会議長会定例会・懇親会(第3回)	3,000
贈答	総務文教常任委員会調査活動のお礼(富山県入善町、上市町)	4,400
会費	おいらせ町消防団活動報告会	5,000
贈答	産業民生常任委員会調査活動のお礼(香川県直島町、京都府精華町)	8,680
慶弔	町議会議長の母葬儀(香典等)	15,500
祝儀	おいらせ町消防団出初式(19分団)	45,400
	18件	156,200

【訂正】前号の議会だより第56号7ページ2段落目の中ほどにある見出し「障害者の実情は」を「住民懇談会の内容は」と訂正し、お詫び申し上げます。

編集後記

世界を震撼させている新型コロナウイルス。世界保健機関(WHO)も、「パンデミック(世界的大流行)宣言」をしたばかり。WHOが「パンデミック」という表現を使うのは、2009年の新型インフルエンザ以来11年ぶりだそう。3月議会でも、新型コロナウイルス対策についての質問が相次いだ。

東北地方では、発生件数も少なく、あまり身近に感じていない人が多いだろう。

しかし、ワクチンが有効な抗ウイルス薬が登場しない限り、長期化する可能性が高いし、安心できない。今、私達が出来る事は、手洗い消毒とマスクの着用を徹底し、不要不急の行動は慎みましょう。

広報委員 澤上 訓

